



R5, 7月 NO, 4 認定こども園若草幼稚園・若草ベビールーム

ぴよんぴよん広場ありがとうございます！

夏季保育

～一泊二日の大冒険～

7月26日(水)に2回目のぴよんぴよん広場が行われました。お越しいただきました皆様ありがとうございます。お土産にすくすく畑のトマトを持ち帰りいただきましたが、お味はいかがでしたか？お寺に隣接する本園の畑は、お墓にお供えしたお花を細かく砕いて堆肥にした栄養満点の土壌で野菜を育てています。有機無農薬のトマト！甘くておいしかったかな？

7月15・16日に年長組の子ども達を対象にした「夏季保育」(お泊り保育)が行われました。今年で61回目の夏季保育となります。「親元を離れて、友達や先生と一緒に楽しく過ごす」、「自然の中で開放感を味わって遊ぶ。」「自分のことは自分でしようとする気持ちをもち、友達と協力し合いながら生活する」ことをねらい、川遊び、いわなつかみ、宝探し、ブラックシアター、キャンドルサービス、わかくさレストラン(すくすく畑で収穫した野菜いっぱいの特製ごはん)、屋上ほしぞら温泉、友達と一緒に寝る・・・などの、普段の幼稚園生活とは違ったお楽しみがいっぱいの一泊二日の大冒険です。

今年はいにくの雨・・・でしたが、それでも「楽しく特別な経験を!!」の思いは強く、園内でもいわなつかみをしたり、ネイチャーゲームをしたり。お楽しみのお弁当の時間には自分達でつかまえたいわなをおいしくいただきました。さっきまで生きていたいわな。一つの命をありがたくいただく。そうして私たちは生かされている。だからこそ、食べ物を大切にしたり、感謝の気持ちをもったり。子ども達も経験の中から感じているのではないのでしょうか。

夜の幼稚園はまるで別の場所のよう!?友達と力を合わせて宝探し。各グループが見つけた「勇気の玉」が4つ集まると・・・不思議なことが起こり、子ども達は幻想的な宇宙の世界に・・・。本物の火を見つめてのキャンドルサービスは感動的な瞬間です。仲間と並べた布団も嬉しくて、消灯までも賑やかでした。子ども達、どんな夢を見たのでしょうか。



「いつもならお母さんがやってくれるけど、自分でがんばらなきゃ。」「初めての経験にちょっとドキドキ。でもみんながいるから大丈夫!」と自分を奮い立たせるとき、きっと子ども達は何度もお家の方の顔を思い浮かべたのでしょうね。夏季保育後の保護者のアンケートの中に、「いつもは賑やかな兄弟喧嘩が聞かれずゆっくり過ごしました・・・が、だんだんなんだか物足りない・・・。娘の存在の大きさに気付かされました。」そんなコメントがありました。子ども達にとっても、お家の皆さんにとっても、かけがえのない家族の存在、大きさに気付き、お互いを思い合う時間にもなったようです。家族の絆も深まったかな・・・

無事に大冒険を終えた子ども達の顔はなんだか自信に満ち溢れ、ぐ～んと大きくなったように見えました。子ども達の無限の可能性を信じて若草幼稚園の夏季保育は続いています・・・😊

ぐんぐん担当 土門 千都子